

■主催者挨拶

小林郁雄（世界災害語り継ぎネットワーク（TeLL-Net）事務局長）

TeLL-Netとは、世界災害語り継ぎネットワークの略称で、2005年に国際防災・人道支援協議会（DRA）が開催した国際防災・人道支援フォーラムで、災害語り継ぎを続けていくことの大事さについて話し合われたことがそもそもの始まりです。

翌年1月20日に世界各国からご参加いただき、TeLL-Net（Telling Live Lessons Network）が神戸で設立されました。一昨年、震災15年を記念し、災害関係のミュージアム関係者、災害の語り継ぎを実践されている人たち等に世界の十数カ国から集まっていただき、世界災害語り継ぎフォーラムを開催しました。

世界各国から集まっていただく、このような大きな集まりは5年に1回程度しかできないため、その間をつなぐ形で災害語り継ぎ（TeLL-Net）フォーラムの開催を計画し、昨年の3月18日に予定でしたが、東日本大震災のため、やむなく延期し、今回の開催となります。

これから減災を進めていくうえで、災害を語り継ぐという我々の活動は、ますます重要になってくる。このようなフォーラムは毎年続けていきたいし、これからは、東北の方々とも、ともに活動していきたいと思っています。